

# 第37回 じんけんを考える

入場無料  
定員、先着  
400名

## 市民のつどい

### ハンセン病問題 から学ぶ

～取材現場から見てきたこと・回復者  
として、地域で生きるということ～



講師：

やぶもと まさこ  
**藪本 雅子さん**

(フリーアナウンサー・記者)

おかやま いくお  
**岡山 育夫(仮名)さん**

(ハンセン病関西退所者原告団いちろうの会 共同代表)

ハンセン病は「らい菌」による慢性の細菌感染症ですが、らい菌はヒトへの病原性が非常に弱く、感染しても多くは体の免疫の働きにより発症することはありません。

今では薬で治る病気ですが、かつては国が主導して患者を強制的に隔離し、療養所へ収容するといった重大な人権侵害が行われていました。

講演の前半では、ハンセン病問題について藪本さんにこれまでの取材や報道活動等の経験を踏まえてお話いただき、後半では、ハンセン病回復者の岡山さん(仮名)との対談形式でお話いただきます。

#### 藪本さん プロフィール

日本テレビアナウンサーとして、数々のバラエティ番組に出演。3人トリオ「DORA」結成で注目される。ニュース「きょうの出来事」サブキャスターを経て報道局記者へ。日本テレビ退社後は、ハンセン病をテーマに『女子アナ失格』を出版し、上智大学大学院でメディアと人権を研究し修士号を取得、現在は人権問題を中心に、取材、執筆を行っている。令和元年度人権擁護功労賞(法務大臣賞)受賞

#### 岡山(仮名)さん プロフィール

1942年生まれの81歳。小学5年生でハンセン病と診断され、岡山県にある国立ハンセン病療養所長島愛生園に強制的に入所させられた。1961年、長島愛生園内にある岡山県立邑久高等学校新良田教室を卒業し、大阪に社会復帰。2001年「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」で原告となり、ハンセン病関西退所者原告団いちろうの会の活動に参加。現在はいちろうの会共同代表。

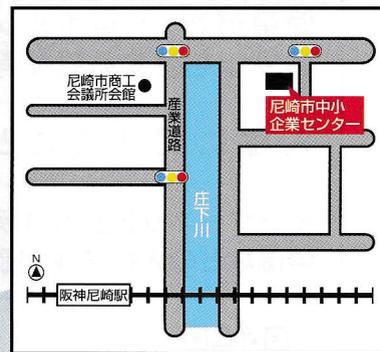
日時 2024年 8月 7日(水)

【開場】午後1時00分 【開演】午後1時30分

場所 尼崎市中小企業センター 1階ホール

(阪神尼崎駅から北東へ徒歩約5分)

情報保障(手話通訳・要約筆記・磁気ループ)あり



主催：尼崎市／尼崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会(尼崎市・神戸地方法務局尼崎支局・尼崎人権擁護委員協議会)  
協賛：(公社)尼崎人権啓発協会／尼崎市人権・同和教育研究協議会／企業人権・同和教育合同研究会  
問合せ：尼崎市総合政策局ダイバーシティ推進課(Tel. 06-6489-6658 Fax. 06-6489-6661)  
尼崎市中小企業センター(Tel. 06-6488-9501(代))

法務省委託事業